

+

ほやほや

福井赤十字病院

理念 人道・博愛の精神のもとに、県民の求める優れた医療を提供します。
 基本方針 患者様の人権と意思を尊重し、相互理解に基づく医療を遂行します。
 医療の質の向上に努め、良質な医療を提供します。
 地域医療機関との連携を推進し、一貫した医療の提供に努めます。

特集

糖尿病とは...



内科部長 夏井耕之

ブドウ糖という栄養素は、体の各細胞にとって基本的な燃料です。それは、腸から吸収されていったん肝臓に入り、荷造り整理され、必要なだけ出荷されます。

これをつんだ「血液」というトラックは、「血管」という道路にのって全身にブドウ糖を運びます。目的地では...特にブドウ糖を大量に使う人体最大の組織、筋肉と脂肪とでは、ブドウ糖を取り込む(血液から細胞内に移動させる)ため、インスリンというホルモンを必要とします。

つまりインスリンはブドウ糖を細胞内へ送り込むための鍵、あるいはIDカードのようなもの。もし、このインスリンという鍵がうまくはまらなかったら...ブドウ糖は出荷されるのに、うまく捌けなくなり、道路(血液中)にあふれてしまいますね。これが糖尿病なのです。道路中糖だらけ状態が長く続けば、網膜症・腎症・神経障害をはじめ、望ましくない合併症が群がり起こります。

では、この糖尿病を予防し、基本的な治療をするためには、どうすべきでしょうか?それは、ブドウ糖を余分に仕入れないこと、

インスリンの働きを妨げないこと、「消費先」である筋肉をよく動かしてブドウ糖の消費をよくすること、です。つまり、糖尿病の

予防と治療の基本とは、食事療法と運動療法、ということになります。お薬もインスリンも、それでダメだったときに使う、仕方なしの手段です。今、日本人の6人に1人が高血糖と言う時代、どうかみなさん、良い生活習慣を身につけてください。



健診センター

平素は、当院の人間ドックをご利用賜り誠にありがとうございます。
皆様には、改修の間、大変ご迷惑をおかけいたしました。このたび本館に隣接する3病棟内に
リニューアルオープンしました。

【新しくなった健診センターフロア】



快適な待合室



更衣室



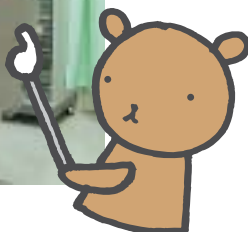
宿泊室

当院では、精度の高い健診を行なうために
検査結果については、専門医師によるダブル
チェックを行なっています。

私たち健診センタースタッフは、『健康づく
りを支援し、併せて高い専門性をもって疾病
の早期発見に努める』という理念のもと、皆
様に満足していただけるよう努めております。
今後とも、当院の健診センターをご利用賜り
ますようお願い申し上げます。



診療室

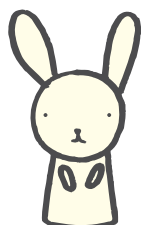


健診センタースタッフ

ボランティアのみなさん いつもありがとうございます。

先ごろ、ボランティア活動を通じて本院の赤十字医療活動
にご協力いただいたお二人の功績を称えて感謝状と記念品を
贈呈しました。

今村暉桜様には、入院患者様の眼鏡の洗浄や中央受付や病棟の老眼鏡の点検修理など、患者様
が快適に診察を受けていただけるようにご協力いただきました。



郡谷いさを様には、患者様のご案内や診察申込書や問診票の記入の代筆など、
患者様が安心して診察を受けていただけるようにご協力いただきました。

本院は、皆様のボランティア活動によって支えられています。今後ともあ
たかにご支援を賜りますようお願い申し上げます。



今村暉桜 様



郡谷いさを 様

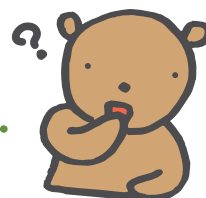
人工透析センター

このたび3病棟2階に引越しました。場所を正確にいいますと、本館2階の超音波内視鏡室前の廊下を歩いて右奥に位置します。

人工透析ってなあに？

人工透析って聞いたことはあるけれどいったいどんなことをしているの？と思われる方もいらっしゃると思います。

人工透析とは、機能の落ちた腎臓の代わりに、血液の中に貯留した不要なものを除去し、必要なものを供給し、水、電解質のバランスをとる仕組みです。人工透析は、一般的に週3回、1回に約3～5時間かかるため、患者さまにはとても負担がかかってしまいます。



そこで...

今回のリニューアルでは、快適な空間で透析していただけるよう、

個人用のTV、ロッカー、靴箱などを新しく整備いたしました。

食堂を設置しました。

ベッド数を16床 20床に増やしました。

新しくなった透析センターで、スタッフ一同

『より安全で安楽な質の高い透析』を提供するため日々努力しております。



人工透析センタースタッフ

ひとりひとりが積極的に病院運営を考えています～提案制度～

当院では日ごろから職員全員が、「どうすれば患者様により快適に過ごしていただけるのかな？」

「もっと安全で質の高い医療を提供するには何が必要なの？」といった意識を持ちながら業務に励んでいます。そこで、私たちは病院運営に前向きなアイデアを職員から引き出して日々の業務につなげていくために『提案制度』を設けています。提案制度に関連した取り組みはこれまでに20以上にのぼり、それぞれの内容は「救急医療に必要な備品類の安全管理」や「帝王切開術における安全、高品質、むだの少ない医療」をはじめ、患者様に選ばれる当院づくりに直結する中身の濃いものばかりでした。これからも引き続き、より良い医療、より安全な医療の提供に務めてまいります。

行事予定

家庭看護法介助員養成講習

日時：11月6日(土)・13日(土)・20日(土)・27日(土)
9:00～15:30

会場：日本赤十字社福井県支部

教材費：1,000円

救急法救急員養成講習

日時：11月9日(火)・10日(水)・11日(木)
9:00～17:00

会場：日本赤十字社福井県支部

教材費：3,000円

福井豪雨災害における救護活動

7月18日(日)未明から福井県北部に降り始めた雨は、降り始めから4時間あまりで、福井の7月の月間総降水量の平均値を超える量になり、3市5町を流れる17河川で、堤防決壊2ヶ所、護岸破損36カ所、越水23ヶ所を引き起こし、溢れ出した河川の泥水は住宅に、全半壊約200世帯、一部破損約230世帯、床上床下浸水約1万3700世帯という甚大なる被害をあたえました。当院には、足羽川が決壊する直前の13時ごろから地域の被災者負傷者が搬送され始め、そ

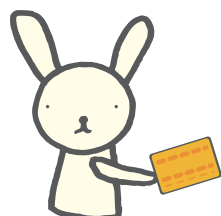


の後20時頃までにヘリコプターで11名、救急車で11名など陸路・空路両方からの患者搬送、及び独歩で訪れる多数の救急患者の受け入れを行ないました。また、それと同時に公民館や学校など、地域の避難所に避難できなかった200名を超える住民の方々の避難所として、食料・毛布などの提供を福井県支部と協力して行ないました。翌日からは被災地の独居老人宅を当院の在宅介護支援センター職員および福井赤十字看護専門学校の教師・学生のボランティアが訪問しました。20日午後からは県の要請を受けて、美山町の町役場に救護センターと土石流で孤立した美山町下味見地区に救護センターを開設、巡回診療などの活動を行い、これと平行して病院職員駐車場敷地内に救援センターを設置し病院周辺地域の復旧作業に対して医療援助を行いました。24日からは、石川県、富山県、愛知県、静岡県、岐阜県の赤十字支部から応援を受け救護活動を続行しました。当院が支援した災害救護活動は、8月8日まで続き、延べ医師60名、看護師75名、薬剤師13名、事務職員64名が救護に参加いたしました。全国各地から多くのボランティアの方々のご協力もあり、福井豪雨の日から約3ヶ月が経った現在、街は元の姿を徐々に取りもどしつつありますが、まだまだ復旧への努力は続いております。今後も福井赤十字病院は一丸となってみなさまと努力をしていきたいと思っております。



員64名が救護に参加いたしました。全国各地から多くのボランティアの方々のご協力もあり、福井豪雨の日から約3ヶ月が経った現在、街は元の姿を徐々に取りもどしつつありますが、まだまだ復旧への努力は続いております。今後も福井赤十字病院は一丸となってみなさまと努力をしていきたいと思っております。

診療費の支払いがカードでできるようになります！



開始年月日 平成16年11月15日(月)

取扱時間 午前9時～午後5時

利用できるカード DC・VISA・MasterCard・JCB

カードをご利用される方は、中央ホール会計カウンターまで

編集後記

食欲の秋。いろんなものがおいしくなりますが、ほどほどに...

スポーツの秋。運動もしやすくなり、いろいろ張り切りたい季節ですが、ほどほどに...

なにごとにもバランスですね。

(広報委員K.H)

ご意見・ご感想は広報委員会事務局(総務課)まで

「ほやほや」第10号
2004.11発行 広報委員会
〒918-8501福井市月見2丁目4番1号
TEL.0776-36-3630(代) FAX.0776-36-4133
URL:<http://www.fukui-med.jrc.or.jp/>
E-mail:webmaster@fukui-med.jrc.or.jp